

# 日南市立中部病院経営計画(2024-2027)の概要

## 第1章 基本方針

策定趣旨：「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を踏まえた事業運営方針の明確化  
 計画期間：令和6年度～令和9年度（4か年）  
 進行管理：「日南市立中部病院事業運営評価委員会」（旧検討委員会と旧評価委員会を統合）にて毎年度の決算状況を点検・評価

## 第2章 第二期計画の取組状況

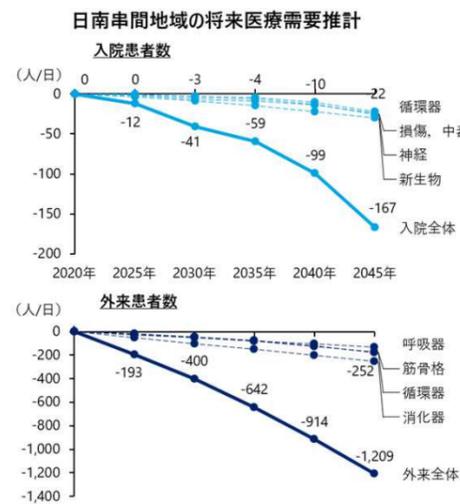
事業収支： 外来収益は計画を上回ったが、看護師不足等から入院収益が低迷。応援医師確保等の費用増もあり、令和2年度を除き赤字決算であった。  
 アクションプラン： 47項目中31項目を達成。

## 第3章 日南串間医療圏の状況

医療圏人口は令和27年に約4万人(△24%)となる一方、高齢化率は47%まで上昇する見込み。医療需要は全体的に減少するが、高齢患者の割合が高い循環器、消化器等の疾患に係る医療需要の減少幅は小さい。

- ◇ 1日当たり入院患者数  
1,054人(R3) ⇒ 887人(R27)
- ◇ 1日当たり外来患者数  
3,050人(R3) ⇒ 2,021人(R27)

※ R3年時点で2割弱の患者が圏外に流出と推計。



## 第4章 病院の役割と機能

- ◆ 中部病院の機能  
入院・外来等データ分析結果を踏まえ、中部病院の機能を改めて整理
- ① 救急医療機能  
救急告示病院を維持し、24時間365日体制で救急患者に対応
- ② 回復期リハビリテーション医療機能  
急性期から回復期へのスムーズな移行を進め、在宅復帰を促進
- ③ 在宅医療支援機能  
訪問診療・訪問看護の24時間体制を確保し、域内施設等と連携
- ④ 専門診療機能  
耳鼻咽喉科、皮膚科等、地域で不足する診療分野の確保・充実
- ⑤ 公衆衛生活動機能  
引き続き特定健診・特定保健指導を実施

- ◆ 地域包括ケアシステムとの関わり  
訪問リハ・訪問診療等を通じ、今後も積極的に関与する。
- ◆ 公立病院間連携  
医師等の限られた地域医療資源をより効率的に活用する観点から、県立日南病院との機能分化・連携強化を推進する。
  - ① 救急医療（救急搬送）  
緊急手術の必要がある患者や合併症等リスクのある患者は県立日南病院で、その他の重症度が低い患者は中部病院で受入れ
  - ② 回復期入院医療  
急性期を脱した患者を県立日南病院から積極的に受入れ
- ◆ 一般会計の負担の範囲  
病院事業の効率的な運営を前提に、総務省繰出基準に基づき負担
- ◆ 住民の理解促進  
業務や決算に関する情報の公表、患者アンケートの実施

## 第5章 医師・看護師等の確保と働き方改革

医師・看護師等の長時間労働の是正は、身体的・精神的負担の軽減と同時に、医療の質の向上や人材確保の観点からも有用であり、適切な労務管理やタスクシフト/タスクシェアを積極的に推進する。

## 第6章 新興感染症の感染拡大等への備え

看護職を中心とした定期訓練の実施、感染防護具の備蓄のほか、専用病床（旧結核病床）の定期点検を行う。

## 第7章 施設・設備の最適化

医療情報プラットフォームの創設や電子カルテ情報の標準化等、医療DXの進展に対応したシステム改修やデジタル化を推進する。

## 第8章 経営効率化の取組

[経営指標]			[収益的収支計画] (単位:百万円)			
経営指標	目標値	達成時期	年度	収入	支出	差引
経常収支比率	100%以上	毎年度	R6	1,799	1,778	+21
修正医業収支比率	80%以上	令和9年度までに	R7	1,808	1,803	+5
1日当たり入院患者数	66人以上	〃	R8	1,836	1,814	+22
1日当たり外来患者数	160人以上	〃	R9	1,830	1,828	+2